

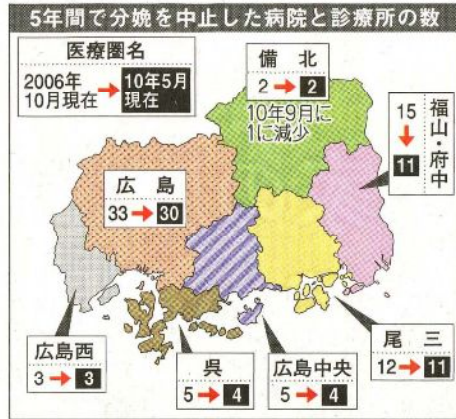
遠のく分娩施設

広島県内 5年で10減 65カ所 他市に通院「不安」

広島県内の分娩施設が減り続けている。本年度は2診療所が分娩中止を表明。分娩できる病院と診療所は現在計65施設で、過去5年で10施設減った。住民からは「地域で出産できないのは不安だ」との声が上がっている。

地域医療

県と厚生労働省は、分娩施設の減少が問題視され始めた2006年から調査を重ねている。県内7医療圏別にみた分娩施設の減少数の内訳は、福山・府中が4施設で最も多かった。広島は3施設、呉、



中止年	病院名
2002年	J A 吉田総合病院(安芸高田市)
04年	J A 府中総合病院(府中市) 因島総合病院(尾道市)
05年	庄原赤十字病院(庄原市) 広島西医療センター(大竹市)
07年	福山市民病院(福山市)
08年	呉共済病院(呉市) マツタ病院(府中町)

広島県内で分娩を中止した主な病院

広島市は3日、旧市合意が不十分だとして「これでよかった民球場(中区)廃止案を10日開会の市議会定例会に再提案する」と発表した。市は年内にも解体工事に着手する構えだが、市の跡地利用計画をめぐっては市議会に賛否が交錯しており、可決するかどうかは流動的だ。

市は、3月の市議会定例会に廃止案を再提案し、議会は「市民球場(中区)廃止案を10日開会の市議会定例会に再提案する」と発表した。市は年内にも解体工事に着手する構えだが、市の跡地利用計画をめぐっては市議会に賛否が交錯しており、可決するかどうかは流動的だ。

球場廃止の再提案表明 広島市9億5000万円補正も

広島市議会は3日、開かれた議会運営の取り組みを基本方針とする議会基本条例の素案を公表した。市民意見の募集を経て、本年度中の制定を目指す。

開かれた議会運営の取り組みを基本方針とする議会基本条例の素案を公表した。市民意見の募集を経て、本年度中の制定を目指す。

議会基本条例で 広島市議会 傍聴署名

婦人科を敬遠し、現役医師は高齢化が進んでいる。当直勤務ができない助産師も不足し、分娩の休止または中止を迫られる。「地方の診療所でも医師、助産師を確保できる仕組みを早急に整備してほしい」と国や県に注文している。

中すると、医師が疲弊し、さらに業務縮小に迫られる悪循環を招く恐れがある」と指摘。「地方の診療所でも医師、助産師を確保できる仕組みを早急に整備してほしい」と国や県に注文している。